

花々の宝石箱

中央アルプス(木曾駒ヶ岳)

きよこまがたけ

森林生態系保護地域

設定目的

日本海型気候から太平洋型気候への推移帯である本州中部に位置し、標高が一、二〇〇㊦〜二、九〇〇㊦の範囲にあることから、山地帯から高山帯まで、中央アルプスにおける原生的で多様な天然林を有しています。

その生態系を保護・管理し、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に役立てるため、保護林として設定しています。

地況・林況

中央アルプスの木曾駒ヶ岳から木岳の稜線の西側斜面(木曾側)に位置しています。急峻な地形で、高山帯には氷河地形が残されています。山地帯にはヒノキ、サワラ、クロベ等の針葉樹が、亜高山帯にはシラビソ、コメツガ、ダケカンバ等が、高山帯にはハイマツ、コケモモ、キバナシヤクナゲ等が分布しています。これらが成立できない箇所には、中央アルプス固有種のコマウスユキソウをはじめ、コマクサ、トウヤクリンドウ等の高山植物が見られます。



コマウスユキソウ



コマクサ



トウヤクリンドウ



ゴゼンタチバナ



クルマユリ

所在地
長野県木曾郡



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載しておりません。

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、QRコードを読み込んでください。